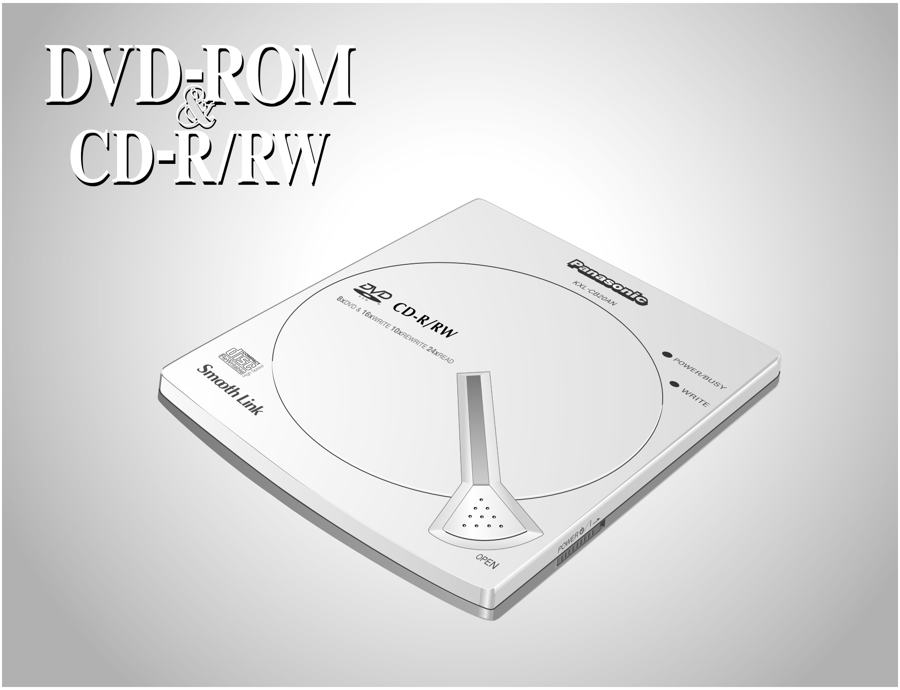
Panasonic

ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ

取扱説明書

品番　KXL-CB20AN



上手に使って上手に節電

保証書別添付

- 取扱説明書、セットアップガイドと保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

このたびは、パナソニック ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ KXL-CB20AN をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本機をパソコンで、CD-ROM、DVD-ROM ドライブもしくは CD-R/RW ドライブとして正しくご使用いただくためには、以下の確認・操作を行う必要があります。

本書	●OS が Windows 98SE / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP であることを確認する ●パソコンにデバイスドライバーをインストールする ●パソコンと本機を接続する ●セットアップを確認する

↓ （CD-ROM、DVD-ROM ドライブとしてご使用いただけます）

DVD ビデオ再生ソフト	●DVD ビデオ再生ソフトをインストールする （DVD ビデオ再生ソフトは、付属のユーティリティディスクに収録、使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。）

↓ （DVDビデオをご覧になれます）

書き込みソフト	●書き込みソフトをインストールする （書き込みソフトは、付属のユーティリティディスクに収録、使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。）

（CD-R/RW ドライブとしてご使用いただけます）

こんな疑問や質問があったら	CD-R/CD-RW メディアを使用するときの、疑問・質問についての説明 （☞ 50、55ページ、ヘルプファイル☞ 26ページ）

本機の特長

■ USB2.0 インターフェース対応*1

高速転送を実現する USB2.0 インターフェースに対応しています。
また、従来の USB1.1 でも使用可能で、パソコンの電源を切らずに
ケーブルを抜き差しできるホットプラグにも対応しています。

■ バッファアンダーラン防止機能（ *SmoothLink* ）搭載

書き込みの際、バッファアンダーランエラーを自動的に回避して安定した
書き込みができる SmoothLink 機能を搭載しています。

■ 書き込み最大16倍速、書き換え10倍速対応*2

CD-R メディアへの書き込み16倍速、CD-RW メディアへの書き換え
10倍速で行えます。

■ DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW 再生対応*3

DVD ドライブで記録された DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW などの
メディアの読み込みに対応しました。

■ OS のリカバリー可能「起動ディスク作成ツール」添付*4

起動ディスク作成ツールを用いて作成した起動ディスクでパソコンの
システムをリカバリー（工場出荷時の状態に戻すこと）が可能です。

■ BHA 社の書き込みソフトを付属

オリジナル CD を簡単な操作で作成できる B's Recorder GOLD5 Basic
とパケットライトに対応した B's CLiP を標準で付属しています。

■ インタービデオ社の DVD ビデオ再生ソフトを付属*5

パソコン上で DVD ビデオなどの再生をお楽しみいただけます。

*1 ・USB ハブ経由での接続は、動作保証していません。
・USB1.1 インターフェース環境で接続された場合、インターフェースの特性上、書き込み読み込みは最大8倍速相当となります。

*2 USB2.0 でご使用の場合に限ります。

*3 DVD-RAM はカートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジがないメディアで UDF フォーマットのものに限ります。
DVD-R は 4.7GB（for General / Authoring）および 3.9GB、DVD-RW は 4.7GB の Ver1.1 に対応したメディアで、一括書き込み（ディスクアットワンス）方式で記録されたものに対応しています。ただし、上記 DVD 系メディアの再生には対応しますが、書き込みはできません。

*4 パソコンによってはリカバリーできない場合があります。Windows 2000、Windows XP ではリカバリーできません。起動ディスク作成の場合にはFDドライブが必要です。

*5 USB1.1で使用される場合、DVDビデオの再生は画像や音声が途切れることがあります。

Windows 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。（以下 Windows 98SE）

Windows 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（以下 Windows 2000）

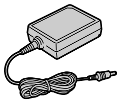
Windows Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。（以下 Windows Me）

Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。（以下 Windows XP）

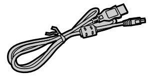
付属品のご確認

ご使用いただくまえに、次のものがそろっているか確認してください。
万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店まで
ご連絡ください。

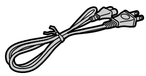
□**AC アダプター**（中国製）
（KX-WZ712）



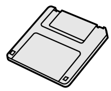
□**インターフェースケーブル**
（USB）
（フィリピン製）



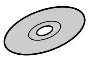
□**AC アダプター用電源コード**
（タイ製）

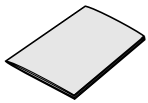


□**セットアップディスク**
1枚

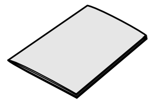


□**ユーティリティディスク**
（CD-ROM）
B’s Recorder GOLD5 Basic、
B’s CLiP、
WinDVD
（クイックガイド、
シリアルナンバー付）

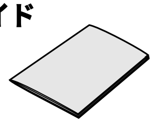




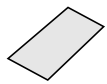
□**取扱説明書**



□**セットアップガイド**



□**保証書**



イラストは現物と一部異なる場合があります。
（付属品の内容は予告なく変更される場合があります。）

付属品を開封前に、必ず「エンドユーザーライセンス契約書」（☞ 70〜71ページ）
をお読みください。

もくじ

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

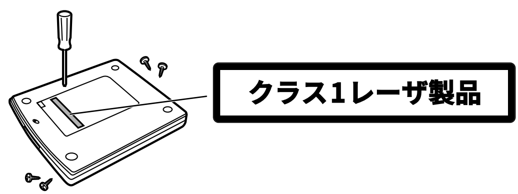
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

絶対に本機を分解したり、修理・改造しない



分解禁止



本機は、クラス1レーザ製品です。
レーザ光線による視力障害の原因になることがあります。

- 内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

電源プラグは根元まで確実に差し込む





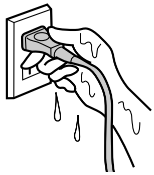
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



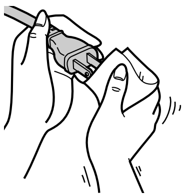
ぬれ手禁止



感電の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

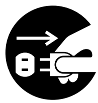




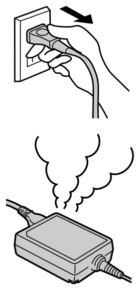
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・煙が出ている・異臭がする
・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因になります。

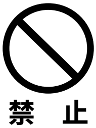
- 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

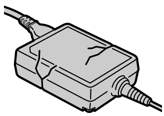
安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

電源コード・電源プラグ・AC アダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）



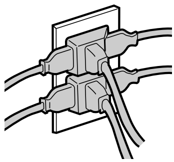


傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない





たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 注意

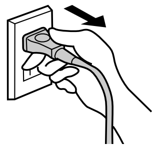
電源プラグを接続したまま移動しない

禁　止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁　止

AC アダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※ の原因になることがあります。

※ 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

本機を水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない

禁　止

故障などの原因になることがあります。

正しくお使いいただくために

使用場所について

■夏季の閉め切った自動車内や長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください
変形・変色または故障の原因になることがあります。

ご使用について

■落下するなど強い衝撃や振動を与えないでください
故障の原因になることがあります。また、ディスク回転中に本機に衝撃を与えると、ディスクが外れ、傷つくことがあります。

■インターフェースケーブルの端子に触れないでください
本機やパソコンの故障の原因になることがあります。

■本機やディスクを結露した状態で使用しないでください
寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。
- ディスクを取り出し約１時間放置したのち、ご使用ください。

■本機に磁石など磁気をもつものを近づけないでください
磁気の影響を受けて、動作が不安定になることがあります。

■機器内部に金属物を入れないでください
故障の原因になります。

■レンズに触れないでください
音とびしたり、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。（☞ 49ページ）

■隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは
- **2m 以上離してください**
- **同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください**

AC アダプターについて

■付属の AC アダプター・KX-WZ712をご使用ください
他の AC アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

高調波ガイドライン適合品

本機では、次のディスクが使用できます。

使用できるディスクについて

- **DVD-RAM は のマークが入ったものをお使いください。**
- **DVD-ROM は のマークが入ったものをお使いください。**
- **DVD-R は のマークが入ったものをお使いください。**
- **DVD-RW は のマークが入ったものをお使いください。**
- **DVD ビデオ は のマークが入ったものをお使いください。**
- **ビデオ CD は や のマークが入ったものをお使いください。**
- **CD-R は のマークが入ったものをお使いください。**
- **CD-RW は や のマークが入ったものをお使いください。**
- **CD-ROM は のマークが入ったものをお使いください。**
- **音楽 CD は のマークが入ったものをお使いください。**

※ディスクの状態（記録品質、傷、汚れ、変形、コピープロテクションなど）によっては正常に読み込めない場合があります。

読み込み対応ディスク		読み書き対応ディスク
DVD-ROM	CD-ROM	CD-R
DVD-VIDEO[*1]	CD-ROM XA	CD-RW
DVD-RAM[*2]	CD-DA	
DVD-RW	CD Extra	
DVD-R	CD TEXT[*3]	
VIDEO CD[*3]	Photo CD[*4]	

[*1] 再生可能な DVD-VIDEOは、再生可能地域コード（リージョンコード）②（2を含むもの）または ALL の表示があるものです。他の地域コードのものは、リージョンコードの設定変更が必要です。（☞ 41ページ）

[*2] DVD-RAM ディスクの再生は、カートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジがないメディアで、UDF フォーマットのものに限ります。（☞ 36ページ）

[*3] 付属ソフトを使用することにより、再生が可能です。

[*4] 使用時には市販の専用ソフトが別途必要です。

コピーコントロール CD について

■本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準じていない「コピーコントロール CD」などについては、動作や音質の保証は致しかねます。

■CD 規格に準じた CD の再生や読み出しに支障がなく、上記のような特殊ディスクで支障が出る場合は、ディスクやパッケージ、印刷物などをよくお確かめのうえ、ディスクの発売元へお問い合わせください。

書き込みについて

■不適切な接続、および取り扱いにより生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。

■重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態で書き込みやバックアップ（複製）を行ってください。

著作権について

■本機を利用して音楽用 CD 等の各種ディスク、インターネット上の画像や情報等著作権の対象となっている著作物を、複製または編集することについては、著作権法上、個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」と言います）のみ許容されます。

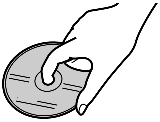
■利用者が著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製、編集することは著作権法で禁じられています。また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

ディスク の取り扱い

■ディスクを長時間直射日光の当たる場所や高温の場所、湿度の高い場所に放置しないでください

ディスクが変形し、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクの信号記録面に触れないでください



ディスクが汚れると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■乾いた布などでディスク表面を強くこすらないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクの指定の場所以外に文字を書いたり、ラベルを貼らないでください



ディスクが傷つくと、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

- 文字などを書く場合は、フェルトペンなどペン先の軟らかいものをご使用ください。

■ディスクを薬品や洗剤で拭かないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクを投げたり、曲げたりしないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

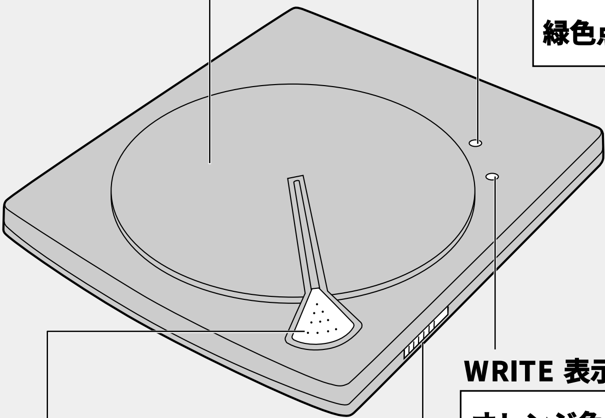
各部のなまえとはたらき

前面／天面／右側面

ディスクカバー
(☞ 32ページ)

POWER/BUSY 表示ランプ

緑色点灯	本機の電源が入っているとき
緑色点滅	データを読み込んでいるとき



WRITE 表示ランプ

オレンジ色点灯	データを書き込んでいるとき

＊SmoothLink 機能時は、一時的に消灯します。

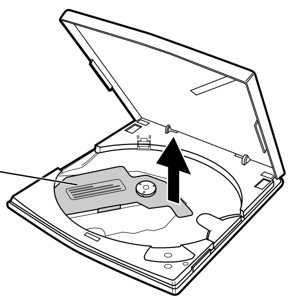
オープンボタン [OPEN]
(☞ 32ページ)

電源スイッチ
[POWER ⏻/I]

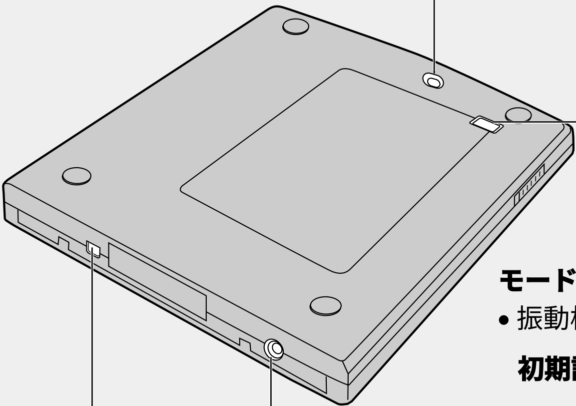
お願い

- ご使用いただく前に、必ず本機のレンズ保護シートを取りはずしてください。
- ディスクカバーを開くには、34ページをご参照ください。

レンズ保護シート



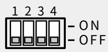
裏面／背面



強制オープンレバー
（☞ 34ページ）

モードスイッチ（☞ 16ページ）
- 振動検出モード

初期設定：



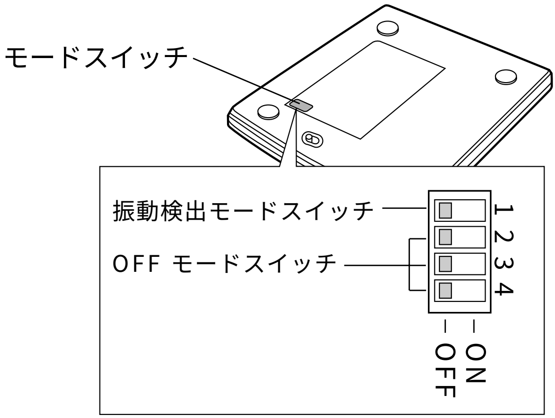
DC 入力端子
[DC IN 6 V ⊖—◉—⊕ **]**

インターフェースコネクター
（☞ 28ページ）

モードスイッチの設定

設定する前に、本機の電源が切れていることを確認してください。
モードスイッチで、振動検出モードを設定することができます。
必要に応じて、ボールペンの先などで切り替えてください。

裏面



お願い

- モードスイッチ「2」～「4」は、必ず「OFF」のままお使いください。

振動検出モードを設定する

ディスクの回転中の振動が大きい場合は、自動的にディスクの回転を下げます。
出荷時は**「OFF」**に設定しています。

モードスイッチ	設定	内　　容
1	ON	• ディスクの回転数は下がりません。
	OFF	• 通常 OFF でご使用ください。 ディスク回転中の振動が大きい場合は、 ディスクの回転数を自動的に下げます。

システムの必要条件

対応 パソコン＊1	● DOS/V パソコン ● PC98-NX シリーズパソコン
対応 OS	● Windows® XP（日本語） ● Windows Me（日本語） ● Windows 2000（日本語） ● Windows 98SE（日本語）
CPU＊2	● Pentium® Ⅱ 400 MHz 以上、 Celeron™ 433 MHz 以上
メモリー	● 64 MB 以上 (128 MB 以上を推奨) (Windows XPではOSとして 256 MB 以上を推奨)
ハードディスク 空き容量＊3	● 100 MB 以上 (800 MB 以上を推奨)

＊1 いずれも、USB ポートを搭載した機種に限ります。
USB2.0 でお使いいただくには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。パソコンがUSB2.0 に対応していない場合、本機は USB1.1 接続ドライブとして動作します。

＊2 CPU が TRANSMETA 社製 Crusoe™ の場合は、VRAM が 8 MB 以上必要です。

＊3 安定した書き込みを行うには、連続した領域を確保してください。

セットアップする

操作方法の表現は、特にOS表記がない場合、Windows XP の表現に合わせています。OSが異なる場合は、ご使用のOS表現に読み替えてください。

Windows のバージョンを確認する

ご使用パソコンの Windows のバージョンを確認します。

Windows XP

画面の スタート をクリックし、「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」をクリックすると、「システムのプロパティ」画面が表示されます。

Windows XP 以外

画面の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックすると、「システムのプロパティ」画面が表示されます。

「システム」に、「Microsoft Windows XP」または「Microsoft Windows 2000」もしくは「Microsoft Windows Me」、「Microsoft Windows 98 Second Edition」の表示があることを確認してください。



お知らせ
- 本機は、Windows 95 や Windows 98、Windows NT® には対応していません。

準備

USB1.1 でお使いいただくには

パソコンの USB ポートで使用する場合、パソコンが USB2.0 に対応していないと、本機は USB1.1 接続ドライブとして動作します。

■ USB1.1 で使用する

Windows XP / Windows 2000 では

デバイスドライバーのインストールは不要です
OS 付属の標準デバイスドライバーで動作します。

↓

「UDF リーダーをお使いいただくには」
（☞ 23ページ）へお進みください

Windows Me / Windows 98SE では

本機付属のデバイスドライバーを使用します
ドライバーをインストールしてください。

↓

「デバイスドライバーをインストールする」
（☞ 21ページ）へお進みください

USB2.0 でお使いいただくには

パソコンが USB2.0 に対応していない場合、市販の USB2.0 インターフェースカードが必要です（☞ 67ページ）。

■ USB2.0 で使用する

Windows XP では

Microsoft の Windows Update（Service Pack1）よりデバイスドライバーが提供されています

インターフェースカードに付属の場合もありますので、カードの取扱説明書や各社ホームページでご確認ください。

（カード付属の場合）

Windows 2000 / Windows Me / Windows 98SE では

インターフェースカードに付属のデバイスドライバーを使用します

カードの取扱説明書に従ってインストールしてください。
最新情報を各社のホームページでご確認ください。

Windows Me
Windows 98SE の場合

本機付属のデバイスドライバーも使用します

ドライバーをインストールしてください。

「デバイスドライバーをインストールする」（☞ 21ページ）へお進みください

Windows 2000 の場合

「UDF リーダーをお使いいただくには」（☞ 23ページ）へお進みください

カードのセットアップ完了後、「セットアップを確認する」（☞ 26ページ）へお進みください

デバイスドライバーをインストールする

本機付属のデバイスドライバーは、Windows 98SE / Windows Me 用です。

お願い

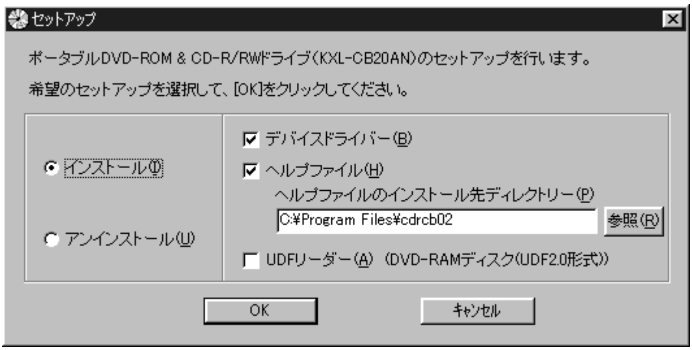
- パソコンは、セットアップ作業中に電源が切れないように AC 電源でご使用ください。

1　付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに入れる

2　画面の スタート をクリックし「マイコンピュータ」をクリックして、「A:」（フロッピーディスクドライブが A の場合）をダブルクリックする

3　「Dsetup.exe」をダブルクリックする

「セットアップ」の画面が表示されます。



4 「デバイスドライバー（B）」のチェックボックスにチェックを付け [インストール] を選択して [OK] をクリックする

インストールが開始され、終了すると次の画面が表示されます。



お知らせ

- 「ヘルプファイル（H）」にチェックを付けると、ヘルプファイルをインストールすることができます。

5 [OK] をクリックし、セットアップディスクを取り出して、「3.5インチFD（A）」の画面を閉じる

6 ドライブをパソコンに接続する

「パソコンに接続する」（☞ 28ページ）② ～ ④ の手順を行ってください。
次の2つのドライバーを組み込み中の画面が表示されます。

・CDRCB02 USB device driver
・CDRCB02 USB Adapter

画面が消えるとドライバーの組み込み終了です。

■ デバイスドライバーをアンインストールするには

21ページの手順3の「セットアップ」の画面で「デバイスドライバー（B）」のチェックボックスにチェックを付け、[アンインストール] を選択して [OK] をクリックしてください。

UDF リーダーをお使いいただくには

DVD-RAM はカートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジのないメディアで UDF フォーマットされたものにかぎります。
UDF2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクを読み込むためには、対応した UDF リーダーが必要です。

■ UDF2.0形式の DVD-RAM ディスクを使用する

DVD-RAM ディスクを使用しない場合は、「セットアップを確認する」(☞ 26ページ)へお進みください。

Windows XP では

OS 標準で装備していますので、UDF リーダーのインストールは不要です

Windows 2000 / Windows Me / Windows 98SE では

本機付属の UDF リーダーを使用します

DVD-RAM ディスクを使用する場合

UDF リーダーをインストールしてください。

「UDF リーダーをインストールする」(☞ 24ページ)へお進みください

「セットアップを確認する」(☞ 26ページ)へお進みください

準備

UDF リーダーをインストールする

本機付属の UDF リーダーは、Windows 98SE / Windows Me / Windows 2000 用です。
Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

お願い
- パソコンは、セットアップ作業中に電源が切れないように AC 電源でご使用ください。

1 付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに入れる

2 画面の スタート をクリックし「マイコンピュータ」をクリックして、「A:」（フロッピーディスクドライブが A の場合）をダブルクリックする

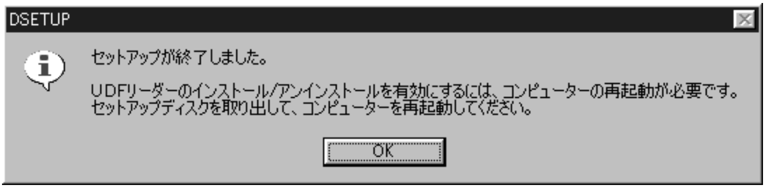
3 「Dsetup.exe」をダブルクリックする

「セットアップ」の画面が表示されます。



4 「UDFリーダー（A）」のチェックボックスにチェックを付け
インストール を選択して OK をクリックする

インストールが開始され、終了すると次の画面が表示されます。



お知らせ

- 「ヘルプファイル（H）」にチェックを付けると、
  ヘルプファイルをインストールすることができます。

5 OK をクリックし、セットアップディスクを取り出して、
「3.5インチFD（A）」の画面を閉じる

■ UDF リーダーをアンインストールするには

24ページの手順3の「セットアップ」の画面で
「UDFリーダー（A）」のチェックボックスにチェックを付け、
アンインストール を選択して OK をクリックしてください。

お知らせ

- UDF リーダーをインストールした後で、UDF リーダーを有効にするには、パソコンの再起動が必要です。
  UDF リーダーのインストールは、付属のユーティリティディスクからも行えます。

準備

セットアップを確認する

1 パソコンと本機を接続する

「インターフェースケーブルの接続」(☞ 28ページ) をご参照ください。

2 本機にディスクを入れないで、「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックする

お知らせ

- DVD/CD-RW ドライブまたは CD-ROM ドライブ  の表示が追加されていれば、本機を使用することができます。
-  が追加されていない場合には、「故障かな!? と思ったら」(☞ 50ページ) をご参照ください。

ヘルプファイルを見るには

Windows 98SE の場合

デバイスドライバーと同様にヘルプファイルもインストールしてください。(☞ 22ページ)

1 スタート をクリックし、「プログラム(P)」をポイントする

2 「Panasonic ポータブル ドライブ」をポイントして、「CB20ヘルプ」をクリックする



Windows XP / Windows 2000 / Windows Me の場合

ユーティリティディスクの CB20 ヘルプファイル ボタンをクリックすると、ヘルプファイルをインストールし、表示されます。

1 付属のユーティリティディスクを本機にセットする

「セットアップメニュー」が表示されます。



2 CB20ヘルプファイル をクリックする

ヘルプファイルをインストールし、表示されます。

お知らせ

- Windows 2000 / Windows XP にインストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。
- 2度目以降は、26ページの手順でもご覧いただけます。

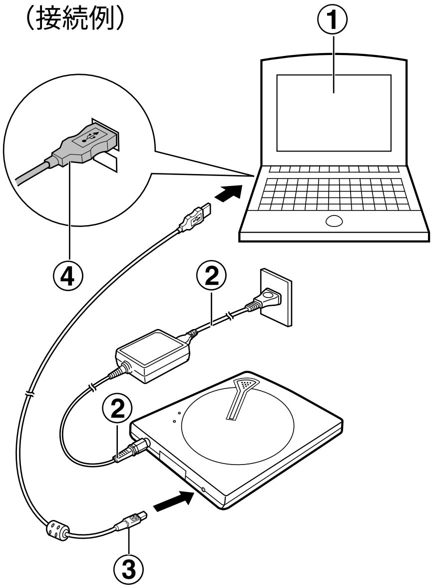
準備

パソコンに接続する

インターフェースケーブルの接続

接続は確実に行ってください。

（接続例）



① **パソコンを起動する**

② **AC アダプターに電源コードを接続し、本機に接続する**

③ **付属のインターフェースケーブルのプラグ（小さい方）を、本機のインターフェースコネクターに差し込む**

④ **片方のインターフェースケーブルのプラグ（大きい方）をパソコンの USB コネクターに差し込む**
本機の電源が自動的に入り、POWER/BUSY 表示ランプが緑色に点灯します。

お知らせ

- 本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。
- インターフェースケーブルを抜き差しすることで、本機の電源は自動的に入／切されます。

お願い

- 付属のインターフェースケーブル以外は使用しないでください。
（本機やパソコン本体を損傷する恐れがあります。）
- 長時間使用しないときは、節電のため AC アダプター用電源コードを電源コンセントから抜いておいてください。〔AC アダプターを接続した状態でも、約 1 W の電力を消費しています。（AC 100 V 時）〕
- 本機は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。
USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。
- 本機がパソコンに接続された状態で、パソコンが動作中は本機の電源は切らないでください。

インターフェースケーブルの取り外し

インターフェースケーブルを取り外す前に、書き込みソフトでの書き込みやデータの読み出し、音楽再生などの動作を終了し、本機からディスク（メディア）を取り出してください。

お願い

- POWER/BUSY 表示ランプ緑色点滅中および WRITE 表示ランプオレンジ色点灯中は、
  - ・インターフェースケーブルは抜かないでください。
  - ・AC アダプターを抜かないでください。

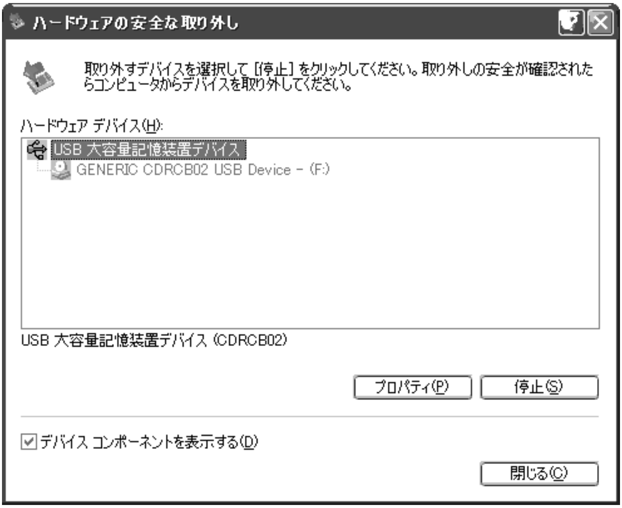
  （データ破壊やパソコンの操作が不能になることがあります。操作が不能になった場合には、パソコンの再起動やリセットを行ってください。）
- 「B's CLiP」をご使用の場合には、タスクバーに表示されている「B's CLiP」インジケータにカーソルを合わせて右クリックし、「取り出し」を選択してから、メディアを取り出してインターフェースケーブルを抜いてください。

Windows XP / Windows 2000 の場合

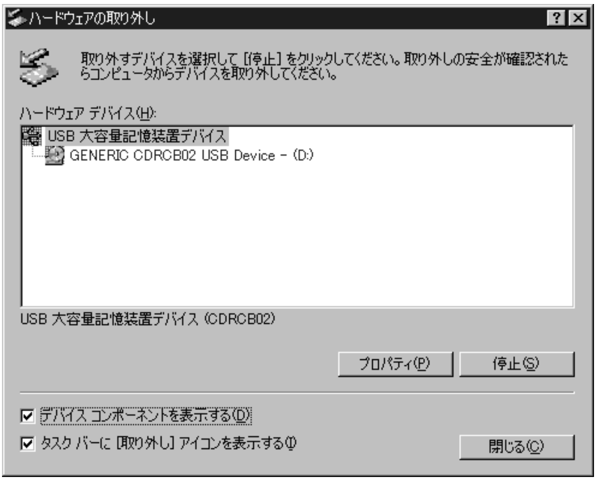
1 画面右下（タスクバー）の「ハードウェアの取り外し」アイコン  **をダブルクリックする**

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。
（OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。）

■ **Windows XP の場合**



■ **Windows 2000 の場合**



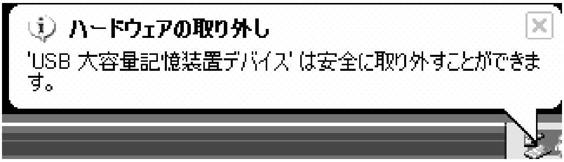
2 「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択し、停止 ボタンをクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 「GENERIC CDRCB02 USB Device」が接続されていることを確認し、OK をクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。
インターフェースケーブルを取り外した後に、「ハードウェアの取り外し」画面を閉じてください。

■ Windows XP の場合



（しばらくすると自動的に消えます）

■ Windows 2000 の場合



Windows Me / Windows 98SE の場合

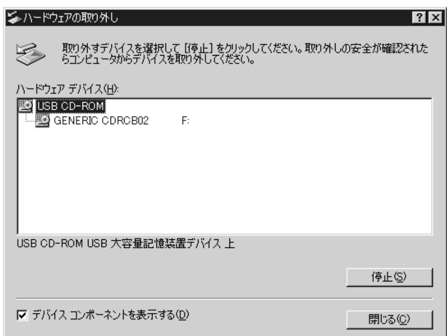
■ 本機付属のデバイスドライバーをご使用の場合

USB はホットプラグに対応していますので、パソコンの電源を切らずにインターフェースケーブルを抜き差しできます。

■ Windows Me で OS 標準デバイスドライバーをご使用の場合

1 画面右下（タスクバー）の「ハードウェアの取り外し」アイコン  をダブルクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。

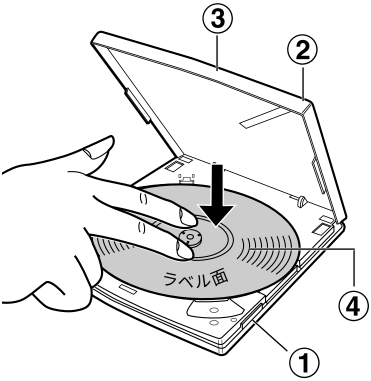


準備

ディスクを入れる／取り出す

本機は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

ディスクを入れる



① **本機の電源を入れる**
本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

② **オープンボタンを押す**
ディスクカバーが少し開きます。
（本機にディスクが入っている場合は、使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

③ **ディスクカバーを持ち上げる（開く）**

④ **ディスクを入れる**
ディスクの中心付近を ディスクが固定されるまで指で押さえます。

⑤ **ディスクカバーを閉じる**

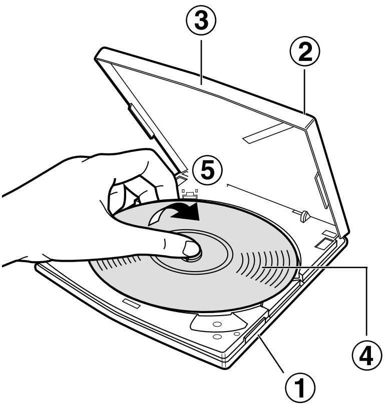
使
う

お願い
- ディスクは、確実にセットしてください。（確実にセットしないと、ディスクが外れ、傷つくことがあります。）
- 電源が入っていない場合は、ディスクカバーロックの強制解除を行ってください。（☞ 34ページをご参照ください。）

お知らせ
- DVD-RAM ディスクの再生は、カートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジがないメディアで、UDF フォーマットのものにかぎります。（☞ 36ページ）

本機は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

ディスクを取り出す



① **本機の電源を入れる**
本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

② **オープンボタンを押す**
ディスクカバーが少し開きます。
（本機を使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

③ **ディスクカバーを持ち上げる（開く）**

④ **ディスクの回転が完全に止まるのを確認する**

⑤ **ディスクを取り出す**
中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。

お願い

- パソコンと接続して使用している場合は、本機を使用しているアプリケーションを終了させるなどして、本機の POWER/BUSY 表示ランプが緑色点滅または WRITE 表示ランプがオレンジ色点灯していないことをご確認ください。

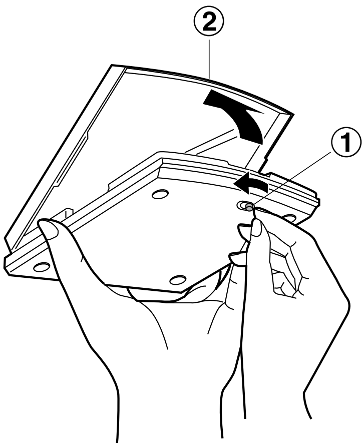
お知らせ

- B’s CLiP フォーマットされたメディアを使用中は、ディスクカバーがロックされますので、タスクバーに表示されているインジケータから「取り出し」を選択して、ロックを解除してください。
- データ書き込み中は WRITE 表示ランプが点灯し、ディスクカバーがロックされますのでディスクカバーを開けることができません。

ディスクが取り出せないときは

■ ディスクカバーロックの強制解除

CD-R/CD-RW メディアにデータ書き込み中の故障、停電などでオープンボタンを押してもディスクカバーが開かないときや本機の電源が入っていないとき、ディスクカバーロックを強制的に解除し、ディスクカバーを開けることができます。



① 本機裏側の強制オープンレバーをスライドさせる

② ディスクカバーを持ち上げる（開く）

お願い

- CD-R/CD-RW メディアの回転が止まらないときは、AC アダプターの電源コードをコンセントから抜いて、完全に回転を止めてください。回転中にディスクカバーを開けると CD-R/CD-RW メディアが外れることがあります。

データを読み込む

DVD/CD-ROM を使う

DVD/CD-ROM の使用方法については、それぞれの DVD/CD-ROM（アプリケーション）に付属の説明書や Readme ファイルなどをご参照ください。

お知らせ

- DVD-R は 4.7GB（for General / Authoring）および 3.9GB、DVD-RW は 4.7GB の Ver1.1 に対応したメディアで、一括書き込み（ディスクアットワンス）方式で記録されたものに対応しています。

音楽 CD を再生する

本機で音楽 CD を再生するには、パソコンのデジタル再生が「有効」に設定されている必要があります。デジタル再生が「有効」に設定されていれば、パソコンに接続されたスピーカー（パソコン内蔵の場合もあります）から音楽を聞くことができます。
（詳しくは、パソコンの取扱説明書や本機のヘルプファイルをご参照ください。）

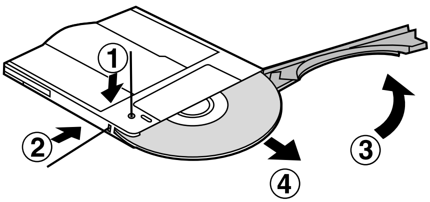
お知らせ

- 通常は本機に音楽 CD を入れると、自動的に音楽再生を始めます。自動的に再生されない場合は、音楽 CD 再生ソフトを起動させてください。

DVD-RAM を使う

DVD-RAM ディスクの再生は、カートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジがないメディアで、UDF フォーマットのものにかぎります。

■ DVD-RAM ディスクの取り出し



① **ディスク取り出しロックピンを、先のとがったもので押し出す**

② **開閉用のへこみを押す**

③ **開閉ふたを開ける**

④ **ディスクを水平に取り出す**

お願い

- カートリッジから取り出したディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。また、落としたり、曲げたり、ラベルを貼らないでください。データの読み込みができなくなります。

お知らせ

- DVD-RAM ディスクの取り出しかたは、製造メーカーによって異なる場合があります。ディスクの取扱説明書をよくお読みください。
- DVD-RAM ディスクの場合、ディスクを認識するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は、一度ディスクを取り出してセットし直してお試しください。
  ディスクの状態（書き込み品質、汚れ、傷など）によっては、正常に読み込めない場合があります。
- Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 上で UDF2.0 形式でフォーマットされたディスクを使用するには、UDF リーダーが必要です。（本機のセットアップを実行し、UDF リーダーをインストールしてください。）☞ 24ページ

付属ソフトをインストールする前に

■ 付属のソフトについて

本機には以下のソフトが付属していますので、付属の CD-ROM から
インストールしてください。

- **マスタリングソフトウェア**（B’s Recorder GOLD5 Basic）
  CD-R や CD-RW メディアにエクスプローラと同じ感覚の操作でデータを書き込むことができます。書き込まれたディスクは、ほとんどの CD-ROMドライブで読み出すことができます。（BHA 社製）

- **パケットライトソフトウェア**（B’s CLiP）
  システム常駐型の書き込みソフトで、ソフトを起動しなくてもフロッピーディスクと同様にドラッグ ＆ ドロップの操作で CD-R や CD-RW メディアにデータを移動・保存・消去することができます。（BHA 社製）

- **DVD ビデオ再生ソフト**（WinDVD）
  DVD タイトルまたはビデオ CD を再生する、操作が簡単なDVD プレーヤーです。（InterVideo 社製）
  （USB1.1 でご使用の場合は、スムーズに再生できない場合があります。）

お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンの 書き込みソフトや DVD ビデオ再生ソフト、または他社の書き込みソフト、同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
  （削除方法については、☞ 38ページをご参照ください。）
  他社のパケットライトソフトと重複してインストールされた場合は、付属のパケットライトソフトが、正常に動作しない場合があります。
- 書き込みソフトのインストールは、デバイスドライバーのインストールが終了した後で行ってください。（☞ 19ページ）
- Windows XP には書き込み機能がありますが、詳細な設定を行うことができません。
  本機の性能を発揮するには、本機付属の B’s Recorder GOLD5 Basic をご使用ください。

お知らせ

- Windows 2000 / Windows XP にインストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

■ アプリケーションの削除

他社または旧バージョンの書き込みソフトや DVD ビデオ再生ソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
インストールされていない場合は、付属ソフトのインストールにお進みください。

アプリケーションの削除方法

OS によっては表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。

1 画面の スタート をクリックし「コントロールパネル」をクリックして、「プログラムの追加と削除」をクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

2 「現在インストールされているプログラム」の一覧で削除するソフトを選択し、 変更と削除 をクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。

3 アプリケーションの削除が完了したら、プログラムの追加と削除のプロパティを終了して、パソコンを再起動する

DVD ビデオ再生ソフトのインストール

■ 付属の DVD ビデオ再生ソフトについて

本機には DVD ビデオ再生ソフトとして、InterVideo 社製 WinDVD が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。インストールおよび取り扱いについての詳細は、付属のクイックガイドをよくお読みください。

お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンの DVD ビデオ再生ソフトや他社の DVD ビデオ再生ソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

インストールするには

1 付属のユーティリティディスクを本機にセットする

（自動的に起動し、起動画面（セットアップメニュー）が表示されます。）



WinDVD のインストール

お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

2 WinDVD をクリックする

（WinDVD のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。）

3 インストールが終了したら、終了(X) をクリックし、パソコンを再起動する

（DVD ビデオ再生ソフトが使用できるようになります。）

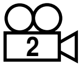
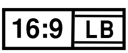
使用するには

通常は、DVD ビデオをセットするだけで自動的に再生が始まります。
（自動再生のオプションがオンに設定の場合）
自動的に再生しない場合は、スタート をクリックし、「すべてのプログラム」をクリックして「InterVideo WinDVD 4」、「InterVideo WinDVD 4」の順に選択しクリックして WinDVD を起動してください。WinDVD の操作パネルは、家庭用ビデオデッキの感覚で操作できます。
操作方法については、付属のクイックガイドをよくお読みください。

お知らせ

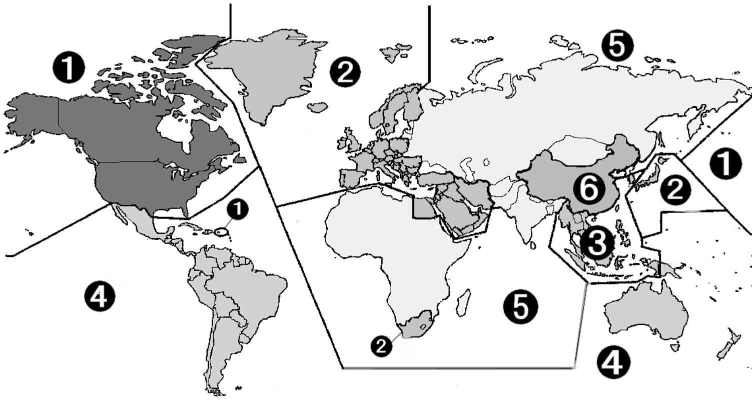
- DVD ビデオ再生ソフトの使用方法については、付属の WinDVD クイックガイドまたは、付属のユーティリティディスク内にあるマニュアルをご参照ください。マニュアルを読むには、WinDVD マニュアル をクリックしてください。

機能表示の見かた

機能表示	表示の意味
	音声数
	字幕数
	アングル数
	収録画面サイズの種類
	再生可能地域コード

■ 再生可能地域コード（リージョンコード）について

多くの DVD ビデオ（DVD ディスク）は、リージョンコードにより保護されています。リージョンコードは、下図のように地域ごとに管理されています。



DVD ビデオを見るためには､下記のリージョンコードが一致している必要があります。

- DVD ディスクのリージョンコード
- 本機のリージョンコード
- 再生ソフト（WinDVD）のリージョンコード

異なるリージョンコードの、DVD タイトルを再生しようとした場合は、警告画面が表示されますので、OK をクリックすれば、リージョンコードの設定画面が表示されます。設定内容を確認し OK をクリックすれば、再生ソフト（WinDVD）と、DVD タイトルの再生ドライブ（本機）は、その新しいリージョンコードに設定されます。設定変更を確認し画面を終了すると再生が始まります。

本機出荷時のリージョンコードの設定は　2　に設定されております。
変更は合計5回までおこなうことが可能ですが、出荷時に1回目を使用しますので、変更可能な回数は4回までとなります。

お知らせ
- **4回目以降は最後に設定したリージョンコードに固定され、変更はできなくなりますので、十分にお気をつけください。**
  不正にリージョンコードを改変した場合のトラブルは、お客様の責任となります。

使う

書き込みソフトのインストール

■ 付属の書き込みソフトについて

本機には書き込みソフトとして、BHA 社製 B's Recorder GOLD5 Basic、B's CLiP が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。

- **マスタリングソフトウェア**（B's Recorder GOLD5 Basic）
  CD-R や CD-RW メディアにエクスプローラと同じ感覚の操作でデータを書き込むことができます。書き込まれたディスクは、ほとんどの CD-ROM ドライブで読み出すことができます。
- **パケットライトソフトウェア**（B's CLiP）
  システム常駐型の書き込みソフトで、ソフトを起動しなくてもフロッピーディスクと同様にドラッグ & ドロップの操作で CD-R や CD-RW メディアにデータを移動・保存・消去することができます。

お願い
- ご使用のパソコンに、旧バージョンの 書き込みソフトや他社の書き込みソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。（削除方法については、☞ 38ページをご参照ください。）
  他社のパケットライトソフトと重複してインストールされた場合は、付属のパケットライトソフトが、正常に動作しない場合があります。
- 書き込みソフトのインストールは、デバイスドライバーのインストールが終了した後で行ってください。（☞ 19ページ）
- Windows XP には書き込み機能がありますが、詳細な設定を行うことができません。
  本機の性能を発揮するには、本機付属の B's Recorder GOLD5 Basic をご使用ください。

お知らせ
- Windows 2000 / Windows XP にインストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

インストールするには

1 付属のユーティリティディスクを本機にセットする

（自動的に起動し、起動画面（セットアップメニュー）が表示されます。）



お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM の アイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の「Asmenu.exe  」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

2 インストールするソフト B’s GOLD または B’s CLiP をクリックする

（選択されたソフトのインストーラーが起動しますので、画面の表示に従ってインストールを行ってください。）

お知らせ

- B’s Recorder GOLD5 Basic と B’s CLiP を続けてインストールされる場合は、途中での再起動は不要です。すべてインストールした後で再起動してください。

3 インストールが終了したら、 終了(X) をクリックし、パソコンを再起動する

（書き込みソフトが使用できるようになります。）

使用するには

■ B's Recorder GOLD5 Basic の場合

B's Recorder GOLD5 Basic を起動するには、 スタート をクリックし、「すべてのプログラム」から「B.H.A」、「B's Recorder GOLD5」、「B's Recorder GOLD5」の順に選択し、クリックします。

■ B's CLiP の場合

B's CLiP は、Windows を起動すると自動的に常駐します。
本機に未使用のメディアや B's CLiP フォーマットされたメディアをセットすると、B's CLiP が自動的に起動します。

お願い

- Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の書き込み機能は使用しない に設定してください。
  （ スタート → マイコンピュータ をクリックし、DVD/CD-RW ドライブ（本機）を右クリック、 プロパティ → 書き込み をクリックし、「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックを外します）

お知らせ

- 書き込みソフトの使用方法については、付属のクイックガイドまたは、付属のユーティリティディスク内にあるマニュアルをご参照ください。
  ユーティリティディスクからマニュアルを読むには、B's マニュアルの各ボタンをクリックしてください。
  なお、マニュアルをお読みいただくためには、Adobe Acrobat Reader（Version4.0 以上）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属の CD-ROM に入っていますので Acrobat Reader をクリックして、インストールしてください。

■「B's Recorder GOLD5、B's CLiP」について

インターネットのホームページより、「B's Recorder GOLD5、B's CLiP」のバージョンアップなどの最新情報を入手できます。
（☞ 62ページ）

使う

CD-R/RW メディアに書き込むには

CD-R/CD-RW メディアにデータを書き込むには、パソコンに書き込みソフトのインストールが必要です。付属の書き込みソフトをパソコンにインストールしてください。（☞ 43ページ）

お願い

- **CD-R/CD-RW メディアに書き込む場合は、**
  - ・パソコンは、書き込み中に電源が切れないように AC 電源でご使用ください。
  - ・パソコンのサスペンドモードを使用しないでください。
    書き込みができなくなる場合があります。
  - ・ノートパソコンのディスプレイを閉じないでください。
    サスペンドモードに入り、書き込みができなくなる場合があります。

本機で使用可能な書き込み速度は、以下のようになっています。最適な速度でご使用ください。

・CD-R メディアでは、4倍速、8倍速、最大16倍速
・CD-RW メディアでは、4倍速
・High Speed CD-RW メディアでは、4倍速、10倍速
（ のマークが表示されたメディアをご使用ください。）

お知らせ

- 最大16倍速の書き込みは、USB2.0 での動作が必要です。
- パソコンの性能や使用条件、ご使用のメディアによっては、16倍速で書き込みができない場合があります。
- CD-R/CD-RW メディアの推奨品については、67ページをご参照ください。
- SmoothLink は通常 ON に設定されており、機能時は WRITE 表示ランプが一時的に消灯します。

CD-ROM 起動ディスクの作成

お使いのパソコンに問題が発生した場合は、ここで作成した CD-ROM 起動ディスクをパソコンにセットして起動することで、本機を使ってシステムのリカバリー（再インストール）を行うことができます。
セットアップ終了後、つづけて CD-ROM 起動ディスクを作成されることをおすすめします。
（このツールは、パソコンに付属のフロッピー起動ディスクに対して変更を行います。起動ディスクが付属しないパソコンには使用できません。
Windows 2000、Windows XP のパソコンには、起動ディスクが付属しない場合があります。）

お知らせ

- スーパーディスクドライブでは「CD-ROM 起動ディスク」は作成できません。パソコン用のフロッピーディスクドライブをお使いください。
- Windows Me や Windows 98SE など複数の OS を切り替えて使用されているパソコン環境においては、「CD-ROM 起動ディスク」の作成は対応していません。
- システムのリカバリーには、パソコンに付属のリカバリー CD が必要です。
- 内蔵 CD-ROM ドライブを搭載しているパソコンの場合、リカバリー作業はパソコン付属の取扱説明書の記述に従って、内蔵 CD-ROM ドライブから行ってください。本機用の「CD-ROM 起動ディスク」を作成する必要はありません。

1 作成手順

準備

- **付属のセットアップディスク、およびフロッピーディスクドライブ**
- **パソコン付属（またはパソコン指定）の起動ディスクをコピーしたもの**

（パソコン付属の起動ディスクは保管し、コピーしたものをお使いください。
Windows 2000、Windows XP のパソコンには、起動ディスクが付属しない場合があります。）

Windows Me / Windows 98SE の場合

1 フロッピーディスクドライブに、付属のセットアップディスクを入れる

2 スタート をクリックし、「ファイル名を指定して実行(R)...」をクリックする

3 「名前(O):」ボックスに a:¥f2h\f2hat.bat **と入力し、OK をクリックする**（フロッピーディスクドライブが A の場合）

```
###　　CD-ROM 起動ディスク作成プログラム　　###
(C) Panasonic Communications Co., Ltd.  2000-2003

CD-ROM 起動ディスクを作成します。下記のものを準備してください。
「パソコン付属の起動ディスク」のコピー

1　準備できました（ディスクはまだ入れ替えないでください。）
2　準備できていません（作業を中断します。）

「1」または「2」を選択してください。
```

上記の画面が表示されます。準備ができたら「1」を選択してください。
以後は、画面の指示に従ってください。

2 CD-ROM 起動ディスクの確認

1 フロッピーディスクドライブに、1 で作成した CD-ROM 起動ディスクを入れる

2 本機にリカバリー CD を入れ、パソコンに接続する

3 パソコンの電源を入れ、起動させる

4 ご利用のパソコンに付属の説明書などを参考にして、リカバリー CD が認識されることを確認する

お知らせ

- 作成した CD-ROM 起動ディスクでリカバリー CD を認識できない場合には、セットアップディスクの F2h フォルダ内の「Readme.txt」ファイルをご参照ください。
- 実際のシステムリカバリー作業は、リカバリー CD が認識されることを確認されたあとに行ってください。
- 作成した CD-ROM 起動ディスクは、書き込み不可の状態にして大切に保管してください。

お手入れ

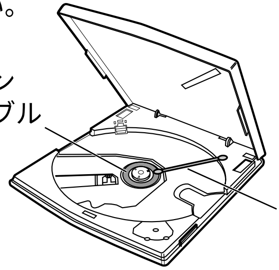
■本体表面が汚れたら

柔らかい布でふいてください。



■ターンテーブルが汚れていたら

ターンテーブル（黒い部分）を綿棒（市販品）で円周状に軽くふいてください。



レンズにはふれないでください。

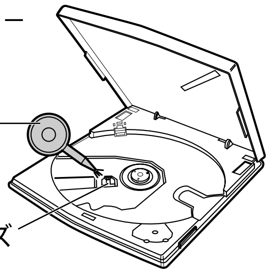
■ディスクが汚れていたら

柔らかい布で、内側から外側へ放射状に軽くふいてください。



■レンズが汚れていたら

レンズをカメラのレンズ用ブロワー（市販品）でお手入れしてください。



ディスクタイプのレンズクリーナーのご使用は、故障の原因となる場合があります。

お願い

- レコードクリーナー、静電防止スプレーや薬剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使わないでください。変形、変色の原因になります。

故障かな!? と思ったら

まず、次の表に従って確認してください。それでも直らないときは、「保証とアフターサービス」（☞ 63ページ）をご参照ください。

こんなときには	ここをお調べください
1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	**ACアダプターが正しく接続されていますか？** ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。ACアダプターの電源コードをコンセントから抜き、2～3分放置後再度コンセントに差してください。☞ 28ページ
	パソコンへのセットアップを行いましたか？ ● パソコンのセットアップ（デバイスドライバーのインストール）を行ってください。☞ 21ページ ● インターフェースカードをご使用の場合は、各社の最新デバイスドライバーをご使用ください。☞ 20ページ
	インターフェースケーブルが正しく接続されていますか？ 正しく接続されているかご確認ください。☞ 28ページ
	ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？ お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。☞ 64ページ
	本機の電源が切れていませんか？ 本機の電源を入れ、パソコンを再起動してください。☞ 26ページのヘルプファイルをご参照ください。
	使用OSが合っていますか？ Windows 98SE/Windows 2000/Windows Me/Windows XPのみで動作します。

(次ページに続きます。)

こんなときには ▶ **ここをお調べください**

1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない

デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。（Windows 98SE 例 OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用 OS の表現に読み替えてください。）

1 画面の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

インストール後、本機がパソコンに接続されると以下の様に表示されます。



不明な点がある場合は、ヘルプファイルをご参照ください。☞ 26ページ

2 ディスクが取り出せない（ディスクカバーが開かない）

本機が動作中になっていませんか？

CD-R/CD-RW メディアにデータ書き込み中はオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。書き込みが終了するのをお待ちください。

「B's CLiP」をご使用の場合には、タスクバーに表示されているインジケータにカーソルを合わせて右クリックし、「取り出し」を選択してください。

ディスクの「取り出し」を選択してもディスクカバーが開かない場合は、強制オープンレバーを操作してください。
☞ 34ページ

こんなときには	ここをお調べください
3 **本機、ACアダプターなどが温かい**	故障ではありません。 (異常に高温になる場合は、AC アダプターの電源コードを外し、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。☞ 64ページ)
4 **正常な書き込みができない**	「こんな疑問や質問があったら」(☞ 55ページ) および 書き込みソフトの説明書をご参照ください。
5 **ディスクを入れたのに音とびしたり、データが読み書きできない**	ラベル面を上にして、ディスクを入れていますか? ディスクの向きをご確認ください。☞ 32ページ
	ディスクまたは本機のレンズが汚れていませんか? お手入れしてください。☞ 49ページ
	ディスクに傷がありませんか? 本機に異常がないことを確かめるために、別のディスクに取り替えてみてください。
	ゴミが本機のターンテーブルの上に付着していませんか? お手入れしてください。☞ 49ページ

(次ページに続きます。)

こんなときには	ここをお調べください
5 **ディスクを入れたのに音とびしたり、データが読み書きできない**	本機やディスクが結露していませんか？
	ディスクを取り出して約1時間放置してください。
	COMPACT disc DIGITAL AUDIO や COMPACT disc のマークが入ったディスクを使用していますか？ COMPACT disc Recordable 、COMPACT disc ReWritable や COMPACT disc ReWritable High Speed のマークが入った CD-R/CD-RW メディアを使用していますか？
	お使いのディスクまたは CD-R/CD-RW メディアをご確認ください。
	ディスク回転中の振動が大きくないですか？
	振動検出モードが「ON」になっている場合は「OFF」に設定してください。☞ 16ページ 通常は「OFF」に設定してください。
6 **音楽 CD、CD-ROM の音が聞こえない**	パソコンの音楽 CD 再生ソフトを使って本機で音楽 CD を再生する場合は、デジタル再生を「有効」に設定する必要があります。 デジタル再生は「有効」に設定されていますか？
	音楽 CD を再生する ☞ 35ページ
	（パソコンのデジタル再生が「有効」に設定されている場合） パソコン側の音量ボリュームを下げすぎていませんか？　また、音量ボリュームの設定が「ミュート」になっていませんか？
	パソコン側の音量ボリュームを調整してください。

その他

こんなときには	ここをお調べください
7 DVD-RAM ディスクが認識されない	**UDF 形式でフォーマットされたディスクを使っていますか？** DVD-RAM ドライブや DVD ビデオレコーダーで、UDF1.5 または UDF2.0 形式にフォーマットされたディスクをお使いください。 ☞ 36ページ
	UDF2.0 形式でフォーマットされたディスクをセットしていませんか？ 本機のセットアップ（デバイスドライバーのインストール）を実行し、UDF リーダーをインストールしてください。☞ 24ページ
8 DVD-R、DVD-RW ディスクが読み込めない	**ご使用の DVD メディアの形式や書き込み方式は正しいですか？** 本機で使用できる DVD-R は 4.7GB（For General / Authoring）および 3.9GB、DVD-RW は 4.7GB の Ver1.1 に対応している必要があります。書き込み方式は、一括書き込み（ディスクアットワンス）方式で記録されたものに限ります。お使いのメディアまたは書き込み方式をご確認ください。

こんな疑問や質問があったら

本機についての疑問は、「故障かな!? と思ったら」を先にお読みください。
(☞ 50ページ)

■ 書き込みについて

Q **書き込み途中で失敗してしまうのですが、どうしたらいいですか？**

A SmoothLink 機能が動作していない可能性があります。書き込みソフトの SmoothLink 機能の設定と下記内容をお確かめください。

- サスペンド／レジューム機能が働かないようにする。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。

SmoothLink 機能を使用しない場合は、メディアへ書き込むためのデータがパソコンから送られてくるときに、そのデータが途中で途切れたりすると書き込みが失敗してしまいます。

これを防ぐには、

- 書き込み速度を変えてみる。(低速にする)
  実際に書き込みを行う前に、書き込みソフトで「テスト書き込み」を行ってご確認ください。パソコンの使用環境によっても使用可能な書き込み速度が変わる場合がありますので、下記内容をお確かめください。

- ハードディスクのメンテナンスを行う。
  (スキャンディスクの後にデフラグを行ってください。)
- サスペンド／レジューム機能が働かないようにする。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。
- スクリーンセーバーを止める。
- Active Desktop を止める。
- ネットワーク接続をしない。

Q 書き込みに失敗するのですが？

A 本機の推奨メディアをご使用ください。
合わせてご使用のメディアと書き込み速度をお確かめください。

- CD-RW メディアで4倍速を超える速度で書き込みを行うには、High Speed 対応のCD-RW メディアが必要です。書き込みソフトで設定した書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。

Q 書き込む前と後ではデータのサイズが違うのですが？

A CD-R/CD-RW メディアとハードディスクなどのセクタサイズが違うことが原因です。そのため、CD-R/CD-RW メディアに書き込んだときは、ハードディスクなどに格納されたデータサイズより若干大きくなります。
また、書き込みモードによっては、書き込むデータのほかに情報エリア分の領域も使用します。

Q オリジナルのベスト版音楽 CD を作成したいのですが？

A それぞれの音楽 CD から wave ファイルとしてハードディスクに取り込み、それを付属の書き込みソフトを使って書き込みます。
詳しくは、付属の書き込みソフトのマニュアルをご参照ください。

Q 複数の CD-R/CD-RW ドライブ、または複数の書き込みソフトを使用して追記できますか？

A 同じドライブ、同じソフトで書き込むようにしてください。
追記する前のデータが読み込めなくなったり、本機およびその他のドライブでデータの読み込み・書き込みが正常にできなくなる場合があります。

Q パソコンにいくつもの書き込みソフトをインストールしたままで書き込みできますか？

A 以下の場合、正常に書き込みできないことがあります。

- 複数の書き込みソフトが同時に起動されている。（常駐するタイプの書き込みソフト含む）
- バージョンの違う書き込みソフトがインストールされている。

Q パソコンのBIOS 設定を変更する必要がありますか？

A BIOS 設定で ACPI や APM といったパワーマネジメント機能が有効の場合は、無効（Disable）に変更してください。
パソコンによってはユーティリティソフトで設定を変更するものがあります。詳しくは、パソコンの説明書をご参照ください。

Q 書き込んだ音楽データ（CD-DA形式）を再生するとノイズが発生するのですが？

Q パソコン内蔵CD-ROM ドライブから 4倍速、8倍速、10倍速、16倍速でのオンザフライ書き込みができません？

A パソコン内蔵の CD-ROM ドライブでは、音楽データ（CD-DA 形式）などを高速読み出しできないものがあります。

- 本機を使用して、パソコンのハードディスクドライブにデータを取り込んで、書き込みを行ってください。詳しくは、書き込みソフトのマニュアルをご参照ください。
- ハードディスクのメンテナンスを行ってください（スキャンディスクの後にデフラグを行ってください。）
- 書き込みソフトの SmoothLink 機能が ON に設定されているかご確認ください。（インストール直後は、ON に設定されています。）

■ 読み込みについて

Q 最高速で読み込めないのですが？

A USB2.0 に設定されているかご確認ください。
デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。
（OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。）

1 画面の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

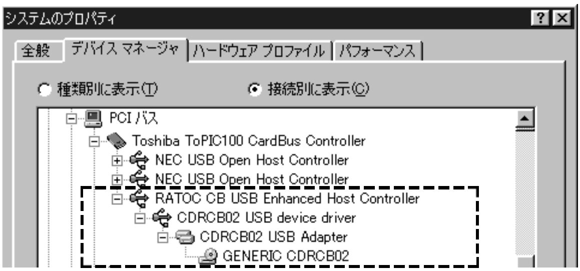
インストール後、本機がパソコンに接続されると以下の様に表示されます。

USB1.1 に設定されている場合（Windows 98SE 例）



通常パソコンのコントローラーに接続されます。

USB2.0 に設定されている場合（Windows 98SE 例）



通常カードメーカーのコントローラーに接続されます。

その他

Q 最高速で読み込めないのですが？

A ディスクによっては最高速で読み込めないものがあります。

- CD-RW メディアは12倍速までの読み込みです。
- 規格外 CD の場合は、最高速では読み込めない場合があります。

Q 本機で書き込んだ CD-R/CD-RW メディアは、他のドライブでも読み込めますか？

A マルチリードに対応したドライブをご利用ください。
一部の CD-ROM ドライブでは、読み込みできない場合があります。

Q 他のドライブで書き込まれた CD-R/CD-RW メディアは読めますか？

A 通常は読み込めます。
ただし、
いくつものドライブで書き込まれたものは、読み込めない場合があります。
また、一部のドライブによって書き込まれたメディアは、読み込みできない場合があります。

Q 音楽データ（CD-DA 形式）をパソコン側に取り込みたいのですが？

A 付属の書き込みソフトを使用してデータの取り込みを行ってください。パソコン上で、本機よりドラッグ＆ドロップをしてもハードディスクなどには取り込めません。

A コピープロテクト（コピーコントロール）された CD からのデータ取り込みには対応していません。

■ その他

Q 付属以外の書き込みソフトで、本機が認識されません。どうしてですか？

A 書き込みソフトが、本機に対応しないとご使用いただけません。

■ DVD ビデオ再生について

Q DVD ビデオが再生できない

A DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- 複数のドライブが接続されている場合は、本機が選択されていない場合があります。
- DVD ビデオと本機および、再生ソフトのリージョンコードが合っていないと再生できません。リージョンコードが合っているかご確認ください。

A DVD の記録方式によっては、自動再生できない場合があります。
下記の方法でご使用ください。

- はじめに WinDVD を起動して本機にディスクをセットしてください。
- WinDVD の再生メニューからファイルを選択して、再生してください。

Q DVD ビデオの音や画像がスムーズに再生できない

A DVD ビデオをスムーズに再生するには、パソコンのシステム能力が要求されます。DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- インターフェースが USB1.1 の場合、画像や音声が途切れることがあります。
  USB2.0 でお使いください。
- 他のアプリケーションを起動していたら終了してください。多くのアプリケーションを起動すると、CPU 能力が不足する場合があります。
- ディスプレイの表示領域や色の設定を変更してください。表示領域や表示色を少なくすると、CPU 能力を有効に使用できます。
- CPU のスピード設定をご確認ください。パソコンによっては、CPU 能力の低い省電力モードに設定されている場合があります。
- 音声がミュートに設定されていないかお確かめください。

製品サポートのご案内

本機の製品情報・ユーザーサポートやご愛用者登録について

本機の製品情報やユーザーサポートに関する情報やご愛用者登録をインターネットでご案内していますので、下記アドレスでご利用ください。

■ 製品情報およびユーザーサポート

（ユーザーサポートに関しては、64ページもご参照ください。）

・**http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3/**

■ ご愛用者登録（ご愛用者登録をしていただきますよう、お願いいたします）

（ユーティリティディスクの ご愛用者登録へ ボタンからもご利用いただけます。）

・**http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3/user/index.html**

本機付属のソフトについて

B's Recorder GOLD5 Basic / B's CLiP について

ビー・エイチ・エー社製 B's Recorder GOLD5 Basic / B's CLiP の最新情報のご確認、およびユーザーサポートについては、下記にお問い合せください。

■ 製品情報およびユーザーサポート

（お問い合わせの前に PDFのマニュアルとサポートの必要事項をご確認ください。）

・インターネット：**http://www.bha.co.jp/support/**
・TEL　：**06－4861－8234**
・FAX　：**06－6378－3336**

(夏季・年末年始・特定休業日・祝祭日を除く)
受付時間　月～土曜日　10:00～12:00　　13:00～17:00

■ ご愛用者登録

ご登録いただくと、各種のご案内をお届けすることができますので、ご愛用者登録をお願いいたします。ご愛用者登録はインターネットでご利用いただけます。

・**http://cgib.bha.co.jp/**

WinDVD について

インタービデオ社製 WinDVD の最新情報のご確認、およびユーザーサポートについては、下記にお問い合せください。

■ 製品情報およびユーザーサポート

（お問い合わせの前に HTML のマニュアルとサポートの必要事項をご確認ください。）

・インターネット：**http://www.intervideo.co.jp/**
・TEL　：**03－5447－0576**
・FAX　：**03－5447－6689**

(夏季・年末年始・特定休業日・祝祭日を除く)
受付時間　月～金曜日　9:30～12:00　　13:30～17:00

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などで
お困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「P³カスタマーサポートセンター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

50ページの「故障かな!? と思ったら」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ
品　番	KXL-CB20AN
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル (全国共通番号) **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

商品についてのお問い合わせは

P³カスタマーサポートセンター

P³ Panasonic Peripheral Products

電話 03-5821-3180
FAX 03-5821-3140

10:00～12:00、12:45～17:00
（※土・日・祝日は除く）

〒101－0032　東京都千代田区岩本町3丁目2番4号
（東京建物岩本町ビル3F）

FAX情報サービス（24時間）のご利用は
（電話機付きファクシミリからダイヤルください）
TEL./FAX. 03-5821-3146

最新の情報をインターネットで
http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3/

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内)	☎ (0138)48-6631

東北地区

青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南/内65	☎ (0243)34-1301

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0602

P3カスタマーサポートセンター行　（FAX　03-5821-3140）

【サポート依頼書】

整理番号：

お問い合わせ日	年　月　日	品　番	**KXL-CB20AN**
お買い上げ日	年　月　日	製造番号（11ケタ）	
フリガナ お名前		ご愛用者登録：済 ／ 未	
ご住所（ご連絡先） □ご自宅 □勤務先	☎　（　） FAX　（　） E-mail　@		
購入店名			

ご使用中のパソコンの機種（メーカー）名	
メーカー名	機種名

ご使用中の OS の名称とバージョン（いずれかに○をつけてください）			
Windows 98SE（初期導入 / アップグレード）	Windows Me（初期導入 / アップグレード）	Windows 2000（初期導入 / アップグレード）	Windows XP（Home Edition / Professional 初期導入 / アップグレード）

ご使用中のおもな周辺機器	メーカー名	形式名

どのような状況になりましたか？（エラーメッセージ、「故障かな!? と思ったら」でチェックした項目番号など、できるだけ詳しくお書きください。）

※ 本用紙はプリントアウトしてご使用ください。

推奨品

下記の推奨品をお買い求めの際には、販売店に品名を指定してください。

■ 推奨品

通　　称	メーカー
CD-R メディア	松下電器産業(株)製、太陽誘電(株)製、三井化学(株)製、(株)リコー製、三菱化学(株)製、日立マクセル(株)製
CD-RW メディア	(株)リコー製、三菱化学(株)製
High Speed CD-RW メディア	(株)リコー製、三菱化学(株)製

■ USB2.0 動作確認済みインターフェースカード

メーカー	製　品　品　番
RATOC	REX-PCIU2、REX-CBU2*1
ADAPTEC	USB2connect3100
MELCO	IFC-USB2P
I･O DATA	USB2-PCIL、CBUSB2*1

*1 は PCMCIA カード仕様、他の機器は PCI ボード仕様
各社添付ドライバーで確認済み。

仕 様

使 用 環 境	温度 5 ℃～35 ℃　湿度 20 %～85 %（結露なきこと）
保 存 環 境	温度 −20 ℃～55 ℃ 湿度 15 %～85 %（結露なきこと）
本体外形寸法	130 (幅)×157 (奥行き)×18.5 (高さ) mm
本 体 質 量	約 315 g
電　源	AC アダプター KX-WZ712（付属） AC 100−240 V、50/60 Hz
対応インターフェース	USB2.0 および USB1.1
バッファー容量	2 MB
データ転送速度 （USB2.0の場合）	■書き込み ・CD-R：4倍速、8倍速、最大16倍速 ■書き換え ・CD-RW：4倍速、10倍速 ■読み込み*1 ・CD-ROM：最大24倍速（CD-RW：最大12倍速） ・DVD-ROM：最大8倍速（DVD-RAM：最大2倍速）
アクセスタイム （自社測定ソフトによる）	150 ms
消 費 電 力 (AC 100 V時)	データ転送時　　：約10 W AC アダプター　：約1 W
対応 フォーマット （読み込み）	CD-DA（音楽 CD）、CD TEXT、CD Extra、 CD-ROM（Mode 1、Mode 2 Form 1）、 CD-ROM XA（Mode 2 Form 2）、 Photo CD*2（Multisession 対応）、VIDEO CD、 DVD-ROM、DVD-VIDEO、DVD-RAM、DVD-R、 DVD-RW
対応 メディア （書き込み）	CD-R（63分/74分/80分）、 CD-RW、High Speed CD-RW（74分/80分）
記 録 方 式	Track at once、Disc at once、Packet writing、 Multisession
エラーレート	10^{-9} 以下　（ソフトリードエラー） 10^{-12} 以下（ハードリードエラー）
インターフェース ケーブル	ケーブルの長さ　：約1 m（コネクターを含む） 質量　　　　　　：約60 g

*1 データ転送速度はパソコンの性能に依存し低下する場合があります。

*2 Photo CD 使用時には市販の再生ソフトが必要です。

対応パソコン	DOS/V パソコン*3 PC98-NX シリーズパソコン*3
対応 OS	Windows® XP（日本語） Windows Me（日本語） Windows 2000（日本語） Windows 98SE（日本語）
CPU*4	Pentium®Ⅱ 400MHz、Celeron™ 433MHz 以上
メモリー	64MB 以上（128MB 以上を推奨） （Windows XP では OS として256MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量	100MB 以上（800MB 以上を推奨）

*3 USB ポートを搭載した機種に限ります。

*4 CPU が TRANSMETA 社製 Crusoe™ の場合は、VRAM が8MB 以上必要です。

エンドユーザーライセンス契約書

本契約書は、お客様と松下電器産業株式会社との間の契約書です。
付属されているソフトウェアプログラム（本ソフトウェアといいます）の袋を開封する前に、この契約の条件を十分にご確認ください。
袋を開封されますと、お客様はこの契約に同意したことになります。
お客様がこの契約に同意できない場合には、未開封のままの袋と共に購入いただいたポータブル DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ 一式をご購入店へ返品ください。
お支払い済の購入代金を返却致します。
ただし、袋を開封されたり、部品を遺失されますと、購入代金は返却致しかねますので、ご了承ください。

１著作権

弊社は、パナソニック コミュニケーションズ株式会社あるいはその許諾者（許諾者と総称します）が著作権を有する本ソフトウェアに関し、お客様へのライセンスに必要な権利の許諾を受けております。
ポータブル DVD-ROM & CD-R/RW ドライブの購入により、お客様にはこの契約中で許諾される以外は何らの権利も発生せず、それらの権利のすべては許諾者あるいは弊社に帰属します。

２使用条件

（１）お客様は、１台のコンピューター上でのみ本ソフトウェアを使用することができます。
ネットワークで使用するために、ネットワークサーバーに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されません。

（２）お客様は、本ソフトウェアあるいは付属する印刷物を複製したり、第三者にその許諾をすることはできません。
但し、（ａ）バックアップ用あるいは保管用として必要な本数、本ソフトウェアをコピーすること、及び（ｂ）お客様が本ソフトウェアのオリジナルをバックアップ用あるいは保管用とすることを条件として、１台のコンピューターのハードディスクに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されます。

（3）お客様は、本ソフトウェアを第三者に貸したり、リースすることはできません。
但し、お客様がこの契約書と共に本ソフトウェアのすべてのコピー、付属する印刷物並びにポータブル DVD-ROM & CD-R/RW ドライブを同時に譲渡し、譲渡を受ける方がこの契約の条件に同意した場合に限り、この契約に基づくお客様の権利を譲渡することはできます。

（4）お客様は、本ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルあるいは逆アセンブルしてはなりません。

（5）お客様は、この使用条件に規定された場合を除き、本ソフトウェアの全部あるいはその一部を使用、複製、修正、変更あるいは譲渡してはなりません。

（6）本契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明書となりますので大切に保管してください。

3 契約期間

お客様は、いつでも、本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄することでこの契約を終結することができます。
また、お客様がこの契約書の条件に違反した場合にも、この契約は終結します。この場合、お客様は本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄していただくものとします。

4 保証

（1）弊社（その許諾者を含む）は、お客様あるいは他の第三者に対して、一切の明示あるいは黙示の保証を行いません。
また本ソフトウェアの機能がお客様の要求に合致していることも、本ソフトウェアに欠陥がないことも一切保証致しません。

（2）弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できなかったことから生じる偶発的あるいは間接的な損害、または受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。

弊社が責任を負う場合は、いかなる場合であってもその金額は、お客様によるポータブル DVD-ROM & CD-R/RW ドライブのお支払い済みの購入代金を超えないものとします。ただし、弊社の故意または重過失に基づく場合はこの限りではありません。

BIOS **（バイオス）**	正式名は Basic Input Output System で、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどのディスクドライブ、キーボードなどパソコンのハードウェアを動かすために必要となる最も基本的なソフトウェアです。通常はパソコン本体に内蔵されています。
CD Extra	音楽 CD のデータの他に、CD-ROM のデータが記録された CD のことです。特に内周側を通常の音楽 CD、それより外周側を CD-ROM として使用しているものの呼称です。 COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO や CD EXTRA TM のマークが入っています。
CD-R	正式名は Compact Disc Recordable で、一度だけ書き込み可能なコンパクトディスクです。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。書き込みモードによっては、空き領域に追記が可能です。
CD-RW	正式名は Compact Disc ReWritable で、書き込んだデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能です。
Disc at once **（ディスク アット ワンス）**	CD 全体のデータをまとめて作成し、一度に書き込む方法です。追加書き込みはできません。
DVD	正式名は Digital Versatile Disc（デジタル多目的ディスク)で、CD と同じサイズの DVD-ROM は CD-ROM の7倍以上のデータ容量を持っています。
DVD-RAM	DVD 規格のひとつで、繰り返しディスクにデータの読み出し・書き込みができる（リライタブル）ディスクのことです。
ビデオ **DVD-VIDEO**	DVD 仕様のひとつで、映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したものです。ビデオの音声の言語や字幕、カメラアングルなどを切り替える機能があります。

High Speed CD-RW	4倍速から10倍速の書き込みに対応した、 CD-RW のメディアです。書き込みには、High Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。 COMPACT disc ReWritable High Speed のマークが表示されています。
Multisession (マルチセッション)	CD-ROM のフォーマットのひとつです。1枚の CD に複数のセッションが記録されているものです。
Packet writing (パケットライティング)	パソコン上でファイルとして扱えるデータをパケットと呼ばれる単位で書き込む方法です。
Photo CD	米国の Eastman Kodak Company により研究開発された技術です。1枚の CD-ROM にたくさんのイメージ画像（写真など）が保存できます。
SmoothLink	松下電器産業株式会社で開発された「バッファアンダーランエラー（転送速度エラー）」を回避することができる新技術です。
Track at once (トラック アット ワンス)	ひとつのトラックを、一度に書き込む方法です。 CD Extra の作成などに利用されます。
UDF フォーマット	Universal Disk Format の略で、パケットライティングや各種 DVD ディスク（DVD-RAM、DVD-VIDEO、DVD-ROM、DVD-R）に採用されているディスクフォーマットです。
USB	Universal Serial Bus の略で、各種の周辺機器とパソコンを接続するための業界標準規格です。
USB2.0	USB2.0 は、USB-IF（USB Implementers Forum）によって制定された、USB1.0/1.1 上位互換の高速な USB インターフェースです。データ転送は最大で、USB1.1 の約40倍となります。
インストール	一般に、デバイスドライバーなどのソフトウェアをパソコンのシステムに登録する作業をいいます。

オンザフライ方式	データをソースファイルから直接読み込んで、 CD-R/CD-RW メディアに書き込む方式です。大きなイメージファイルを必要とせず、ハードディスクの空き容量が少なくて済みます。
再生可能地域コード（リージョンコード）	DVD ビデオは、再生できる地域が決められており地域ごとに管理されています。 日本の地域コードは、「2」です。
デバイスドライバー	パソコンに新しく追加した周辺機器を利用できるようにするためのソフトウェアです。
バッファ アンダーラン または バッファ アンダーランエラー	CD-R/RW ドライブのバッファーメモリー内のデータが書き込み中に、瞬間的に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう現象で、書き込みエラーとなります。
ホットプラグ	周辺機器をパソコンの電源が入った状態で抜き差しする操作をいいます。
マルチリード	CD-ROM や CD-R だけでなく、CD-RW（CD-ReWritable）メディアも読み出せるようにした CD-ROM ドライブの機能です。

さくいん

— アルファベット順 —

その他

さくいん

— 五十音順 —

日本国内用です
本機を使用できるのは日本国内のみです。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.
此产品仅供日本国内使用。在日本国外使用时将不提供售后服务。

愛情点検	長年ご使用のポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブの点検を！		
	こんな症状はありませんか	● AC アダプターのケーブルやプラグが異常に熱い ● 煙が出たり、異常な臭いや音がする ● 水や異物が入った ● その他の異常や故障がある	このような症状の時は、故障や事故の防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから AC アダプター用電源コードを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	KXL-CB20AN
販売店名	☎（　　）　—		
お近くの当社修理相談窓口	☎（　　）　—		

松下電器産業株式会社
パナソニック コミュニケーションズ株式会社
デバイスカンパニー

〒865-0193　熊本県玉名郡菊水町高野1080